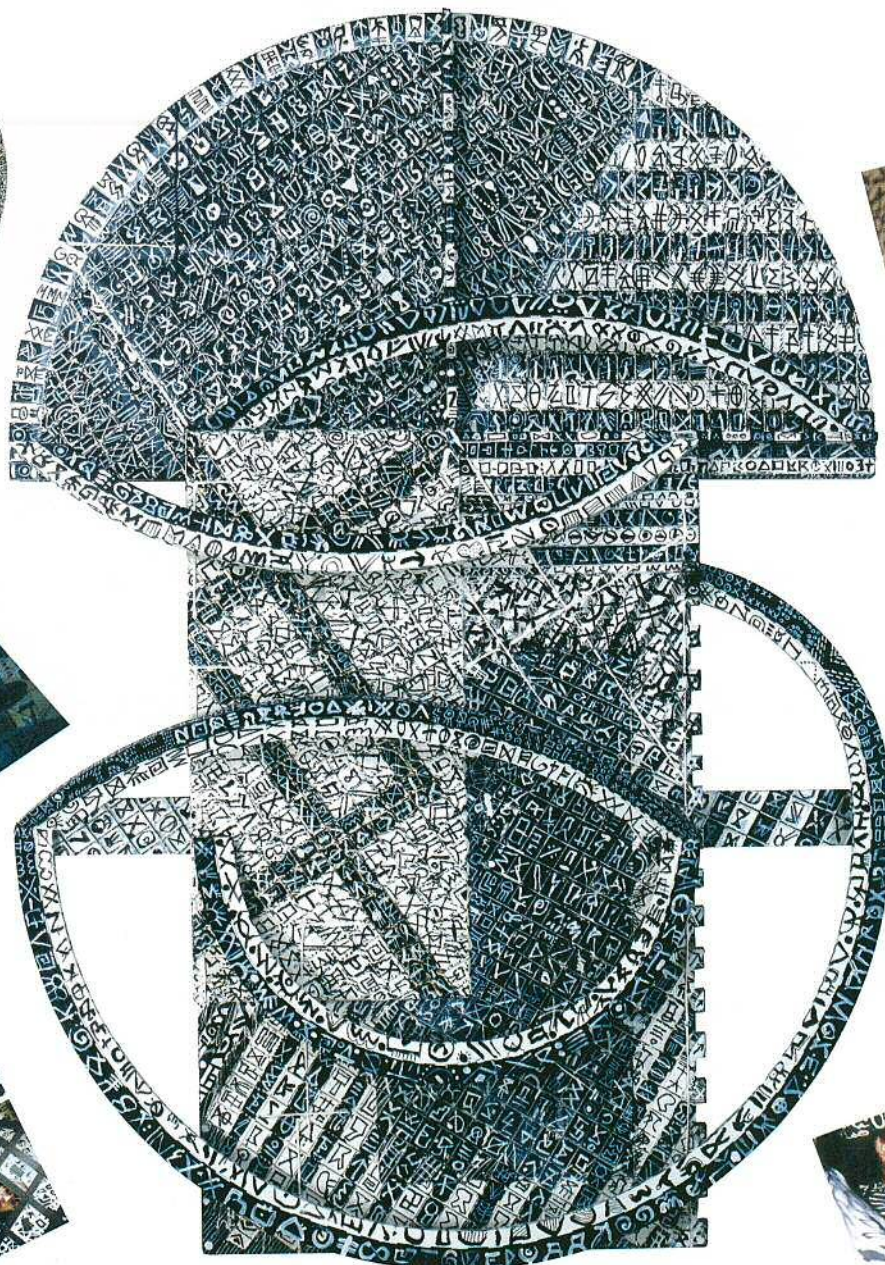
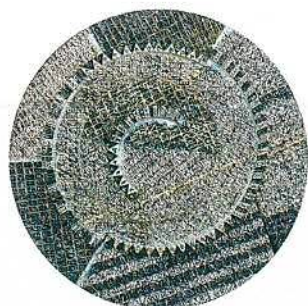


高梁市発足10周年・高梁市成羽美術館新築開館20周年記念

# RESTART

はじまりの場所 — 向井修二記号展



2014年 **4月26日(土)** ➤ **6月1日(日)**

〈開館時間〉午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分迄)

〈会場〉高梁市成羽美術館 館内1階展示室と戸外 ※2階児島虎次郎展示室、オリエント展示室、化石展示室は常設展示

〈休館日〉毎週月曜日と5月7日(水) ※ただし5月5日は開館

〈観覧料〉一般600円、高校・大学生・65歳以上400円、小・中学生200円 ※20名以上の団体は2割引



向井修二記号展会場は、写真撮影OKです。

〈主催〉高梁市成羽美術館(協力) 安藤忠雄建築研究所・黒住教本部・大阪大学21世紀懐徳堂・カイトック(後援) 岡山県・高梁市・高梁市教育委員会・公益社団法人岡山県文化連盟・公益財団法人岡山県郷土文化財団・山陽新聞社・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・RNC西日本放送・TSCテレビせとち・KIBIケーブルテレビ・FM岡山・FMくらしき・エフエムふくやま・レディオモモ



高梁市成羽美術館

NARIWA MUSEUM  
〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原1068-3  
TEL.0866-42-4455 <http://www.kibi.ne.jp/n-museum/>



高梁市発足10周年・高梁市成羽美術館新築開館20周年記念

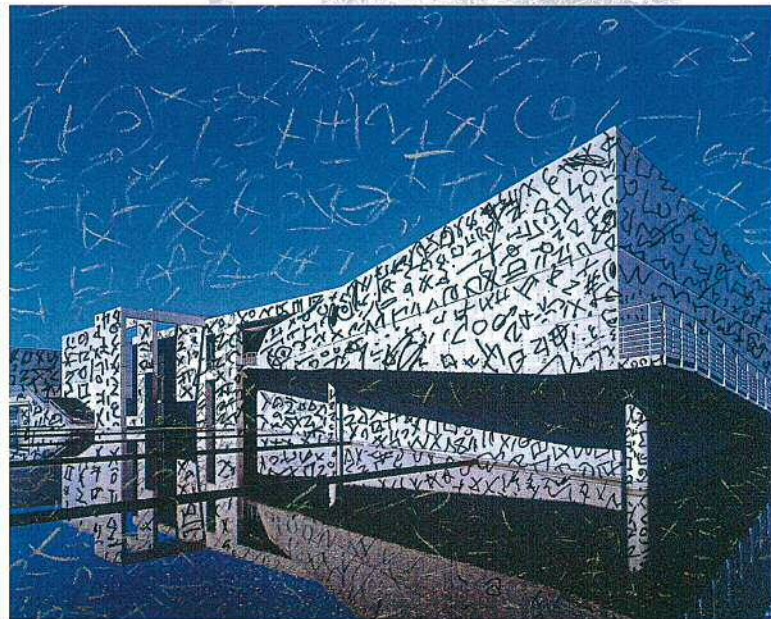
# RESTART

## はじまりの場所 — 向井修二記号展

昨春ニューヨーク・グッゲンハイム美術館を20万人の入館者で沸かせた現代美術家 向井修二が安藤建築の代表作である高梁市成羽美術館でインスタレーションと作品展を開催します。建築の一部を記号で埋めつくすとともに、期間中の入館者も参加するインスタレーションを展開し、出来あがった作品は永久保存します。また1960年代に国際的な活動を展開した前衛美術グループ「具体」で活躍した向井修二の記念すべき作品を初公開するとともに、この展覧会のための新作も併せて展示する美術館新築開館20年の初頭を飾る展覧会です。



フランク・ロイド・ライト設計 グッゲンハイム美術館 フォトインスタレーション



安藤忠雄設計 高梁市成羽美術館 フォトインスタレーション



## 向井 修二 Mukai Syuji

1940年 神戸市に生まれる。

1959年 第8回具体展(京都)に初出品。以降1972年解散まで連続出品。

1962年 舞台上で15名の顔に記号を描くハプニングを展開。

1963年 モノの表面を埋めつくし同一させる手法で「複数の顔面」や「自動車」「衣服」「家具」「便器」「画集」「人体」「雨戸」「人形」「冷蔵庫」「玩具」「表彰状」等々無意味な記号で埋めつくす作品を発表。

2013年 NYグッゲンハイム美術館での「具体:素晴らしい遊び場所」展でフランク・ロイド設計による米国国宝級の建造物に直接描いた初めての作家として評価され、トイレ・エレベーターの全面空間の記号インスタレーションが注目を集め20万人の入館者を記録する。

2014年 安藤忠雄設計の高梁市成羽美術館で開館20周年企画として「RESTART はじまりの場所〜向井修二記号展」を開催する。

### 展示作品

向井修二の作品

- 建物内外でのインスタレーション作品
- 平面作品 新作を含む初公開作品30点
- 新作オブジェ

### イベント

- 開会式 4月26日(土) 午前11時 吉備楽・ギャラリートークとハプニング
- 鼎談 「人を元気に・街をげんきに」  
4月29日(火・昭和の日) 午後2時30分〜4時  
向井修二氏・黒住教教主 黒住宗晴氏・澤原一志(成羽美術館館長)
- ワークショップ 「あなただけの記号Tシャツを作ろう!」  
日時/5月10日(土) 午後1時〜 講師/向井修二氏  
定員/20名 参加費/1000円(白Tシャツは、館で用意します。)  
※ 問い合わせ 0866-42-4455



- JR岡山駅から伯備線(特急やくも)35分、  
(普通)約50分、備中高梁駅下車。  
バスセンター4番のりばから成羽方面への備北バス約20分。  
「成羽」停留所下車すぐ。
- 山陽自動車道 倉敷ICまたは笠岡ICから約50分
- 岡山自動車道 賀陽ICから約30分、岡山総社IC、有漢ICから約40分
- 中国自動車道 北房ICまたは新見ICから約50分

## 高梁市成羽美術館

N A R I W A M U S E U M  
〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原1068-3  
TEL.0866-42-4455 <http://www.kibi.ne.jp/~n-museum/>